

未来を生きる子どもたちへのメッセージ ③⑦  
『大谷翔平選手の活躍』

WBCはご覧になりましたか。野球観戦が大好きな私ですから、毎日夢中になって見ていました。特に準決勝のメキシコ戦は、野球の面白さがいっぱい詰まった試合でした。①何回もチャンスがあったのに、ここで一本が出ない。②生きのいいピッチャーの球はなかなか打てない。③リードした相手に何とか追いついた。④最大のヤマ場で打ってほしい人がゲームを決める。ドラマの脚本でもこれだけの内容は書けないと思いました。この試合だけでなく、今回のWBCはドラマの連続の大会でした。何と言っても二刀流の大谷選手です。投げてエース、打ってクリンナップ。マンガのヒーローでもこれだけの活躍はできません。準決勝の九回、大谷選手が帽子を飛ばし、セカンドの塁上でベンチに向かって、櫛を飛ばしたシーンはこれからずっと語り草になると思います。その心意気を受け継ぎ、村上選手がセンターを超え、フェンス直撃の大飛球を打ち、周東選手がホームを駆け抜けた時には目頭が熱くなりました。最近忘れていた野球のすばらしさ、凄さを感じた試合でした。不振に苦しむ村上選手を遣い続けたブレない栗山監督に、リーダーとしてのあるべき姿を見ました。選手たちに声を掛け続け、信じる監督の姿にリーダーの理想像を見ることができました。大谷選手のCMの言葉に感動しました。

『三振した数	928	打たれたヒットの数	647
ホームランを打たれた数	69	チャンスで凡退した数	506
ケガで投げられなかった日数	692		
二刀流は無理だと言われた回数	∞		
二刀流が無理だと思った回数	0		

失敗の数だけ成長できる。できるのは自分を自分で変える事』

『聴く』という漢字。よく見たことがありますか。耳と目と心と十という部位から出来ています。耳と目と心で十分にきくことなのです。そのためには聴くトレーニングが必要となります。心を傾け（心を尽くし）てきく『傾聴』のトレーニングです。このトレーニングで大切な事は、①時間を決め、ダラダラ聞かない。②やっていること、やったことについて聞くのではなく、やったときの気持ちに焦点をあてて聴く。（行為ではなく相手の気持ち）③どうしたかったか、どう結論づけたいかをきくことです。安易に相手に提案するのではなく、相手の気持ちを確かめることに力を注いでほしいものです。

令和5年4月4日  
津島市教育委員会  
教育長 浅井厚視